



令和3年度学校だより

5月17日

五福校 ごふくこう

No23

文責 本田

職員の研修で早川さんから地域のことを学びました。

今日は職員研修で早川倉庫の早川祐三さんから、五福校区のことやまちづくりに対する思いなどを聞く研修を行いました。子どもたちも地域のことを調べるような学習をしていますが、まずは先生たちが五福の地域のことやそこでまちづくりの活動されている方々から学ぶことが大切と考えたからです。今日はわざわざこの研修のために詳しいプレゼンを作ってきていただき本当に感謝します。楽しいお話の中に熱い思いが伝わってきてあっという間の1時間でした。一町一寺の町割について、早川倉庫の歴史について、熊本に清酒の文化を広めた野白金一さんの話などなど様々なお話をさせていただきました。古いものがなくなっていく危機感とともに、地域の風土にあった建物は文化を伝える生き証人であり、そういう建物が残ってほしいという強い思い。また、ただ古い建物を残すだけでなく、限られた熊本でし



か感じられない一つ一つの古い建物が輝けるような提案をしていきたいという未来を見据えた考えに心打たれました。さらに、子どもたちには自分の生まれた故郷を心の中心に据えて祖先を大切にしてほしいという強い思いも伝わってきました。私たちも子どもたちと一緒に、これからどんなことが提案できるか考えていきます。

根拠をもとに自分の意見が言えるようにしています。

6年生は選挙のしくみと税金の働きを学習しています。消費税の増税について、医療に関する公共的なサービスを維持するために増税するA党と、国民に負担のかかる増税ではなく現在の税金の使われ方を見直すB党のどちらを選ぶのか、まずは自分の考えをもった後、クラスで意見を共有し話し合いました。子どもたちは、今のコロナ禍の中での状況も踏まえ、なぜそう考えるのかという根拠をもとに自分の意見を発表することができていました。もちろん友達の見解もしっかり聞くこともできていました。そこでなるほどと思って付け加えたり、友達の見解を聞いて考えが変わったりしてもいいので、まずは自分でしっかり考えて根拠をもとに考えを発表するように授業を組み立てています。今の教科書は昔の教科書と違って様々な工夫がしています。もしよかったら保護者の皆様もぜひ教科書をご覧ください。きっと新しい発見があると思います。

